

# 令和 5 年度事業報告書 <みくにの森クリニック>

テーマ：福祉・医療・介護の地域共生社会の中で、安全で安心な魅力ある法人サービスを目指す

サブテーマ：地域医療機関・家族・多職種との連携により、安全で安心な医療を提供する。

## 1. 入所者・利用者の健康維持と疾病の早期発見・早期治療

- ① 多職種との連携により異常を早期に発見し、嘱託医・協力病院との連携・情報提供により迅速な対応ができた。週 1 回の外来診療では、施設対応が困難な場合には受診や入院することが多くなってしまった。
- ② 災害時にも必要な医療が継続できるように、情報の収集・共有に努めた。また、新型コロナ発生時は抗原検査キットを活用すると共に嘱託医と連携し、ラゲブリオを処方して頂き、数人分のストック薬を確保した。  
重症化予防・感染拡大防止に繋がったが、アフターコロナで 2 名入院、1 名看取りとなった。

## 2. 利用者・家族との信頼関係の構築

- ① 入所時に DNR を確認し、異常時や体調変化時には、IC や受診のタイミングを考慮した上でその都度十分な説明と意思確認を行った。
- ② IC 施行時には利用者・家族の思いを尊重し、必要に応じた対応・医療を行うよう努めた。  
コロナ感染者の家族には病状を説明し、ラゲブリオ服薬の同意を得た。また経過報告を行い家族の不安軽減に努めた。
- ③ デイ利用者は受診、ショート利用者は、相談員・ケアマネを通して主治医と連携し対応ができた。

## 3. 職場環境の改善

- ① 健康診断の結果を踏まえ、異常者には個別に指導、受診を促した。

- ② 主治医・産業医から指示・指導を受け、職場環境改善に努めた。
- ③ 職員のメンタル相談の声掛けはしているが、相談は数名のみに終わった。